

# 千葉県議会議員 市民ネットワーク

## 川口 えみ

県議会リポート 2023年7月発行 6月議会 6/16~7/12



### 新たな公害 PFAS

常任委員会で質問しました

PFAS は PFOS や PFOA など有機フッ素化合物の総称です。油、汚れ、水を良くはじき、熱に強いため、消火剤やフライパンのコーティング剤などに使われてきました。しかし、ほとんど分解されずに体内に蓄積され、がんを引き起こすなど大変厄介な物質です。

#### ◆ 日本の基準値がない！

日本では、暫定指針値を、PFOS と PFOA の合計で1リットルあたり 50 ナノグラム (ng/L) と設定しており、水質基準項目には入っていません。そのため、PFAS 濃度の測定や対策は義務付けられておらず、自治体の判断で調査・対応しています。

沖縄の米軍基地で泡消火剤に含まれている PFAS が基地の外に流出し、環境汚染を引き起こしました。また、横田や厚木など米軍基地から度々漏出があり、周辺住民への健康被害が起きています。

市民団体が昨年から今年、多摩地区 650 人の血液検査を実施したところ、横田基地周辺の住民から高濃度の PFAS が検出され、大きく報道されました。

#### ◆ 千葉県では

2020 年から水道水の PFOS・PFOA を測定しています。2021 年度の最高値は、佐倉市に給水している柏井浄水場の原水で、30ng/L でした。粒状活性炭で数値を1桁に下げ、飲み水として提供しています。

また、河川・湖沼での水質測定を2021年から行っており、白井市の金山落で270ng/L、千葉市葭川で57 ng/Lと、2か所で暫定指針値を超過しました。いずれも数値が高い原因は不明とのこと。今後しっかりと取り組むよう、千葉県に提案していきます。



講師  
**植田武智さん**  
(科学ジャーナリスト)

参加費無料

オンライン学習会  
**8月5日(土)**  
10:00~12:00

お申し込みはこちら →  
電話やメールでも  
申し込みます。



### ある日、突然ひき逃げ犯に!?

2年前、佐倉市民が車を運転中、通行者をひき逃げしたという容疑で書類送検され、結果は不起訴となりましたが、冤罪防止という観点から、警察常任委員会で質問しました。

被疑者のAさんが捜査を不満として、県警に苦情申立をしましたが、「警察官らの対応に問題は認められませんでした」という極めて素っ気ない回答でした。詳しい説明はまったくありません。

#### ◆ ドライブレコーダーは証拠にならない!?

Aさんの車には最新式のドライブレコーダーが搭載されており、私も映像を見たところ、ひき逃げに当たるような接触の様子はありません。ドライブレコーダーの映像は証拠になるのか聞いたところ、「証拠になる場合とならない場合がある」とのことでした。しかしこれは、**犯罪捜査規範第4条「物的証拠をはじめとするあらゆる証拠の発見収集に努める」**に反しています。

これでは被疑者となった場合、身の潔白を証明できるか不安になります。冤罪はあってはなりません。たとえ不起訴で終わっても、当事者に一生トラウマとなって残ります。警察には、より一層、厳正かつ公正な捜査を強く要望しました。

### 市民ネット提出 意見書をめぐる奇々怪々

#### ◆ALPS汚染水の海洋放出中止を求める意見書

**反対** 伊藤昌弘(自民)、入江晶子(立民)

千葉県漁連の会長も反対している汚染水の海洋放出。立憲民主会派は自ら「**処理水**海洋放出反対」の意見書を出しましたが、市民ネット提出の「**汚染水**海洋放出反対」には反対しました。(反対理由は説明されず…)いくらALPS処理をしてもトリチウムなどは除去できず、**汚染水**と呼ぶべきです。

#### ◆GX推進法の撤回を求める意見書

**反対** 伊藤昌弘(自民)、入江晶子(立民)

老朽原発の延命と、原発再稼働につながるGX推進法に賛成するようでは、県民の命は守れません。